



おもな内容

- 新年度予算決まる 2-5
- 農業改善で健康づくり 6
- 町立親子教室が開所 7
- まちかど 8-9
- おしらせ／保健だより 10-11
- 町史編さん室だより 12

発行・岐阜県川辺町 ■編集・川辺町役場企画室 ■印刷・四橋印刷KK



花咲く街角 わいらうの願い

中川辺第一福寿会（加納政一會長・76人）と同第二福寿会（大場則雄會長・75人）は3月29日、中川辺の国道41号線わきの花壇にサツキ約50本を植えました。「ゆくゆくはスイセンなども植えて、道行く人たちの心をなごませたい」と、お年寄りたちは楽しい夢を膨らませています。

新年度予算決まる

生活密着型 魂の入った

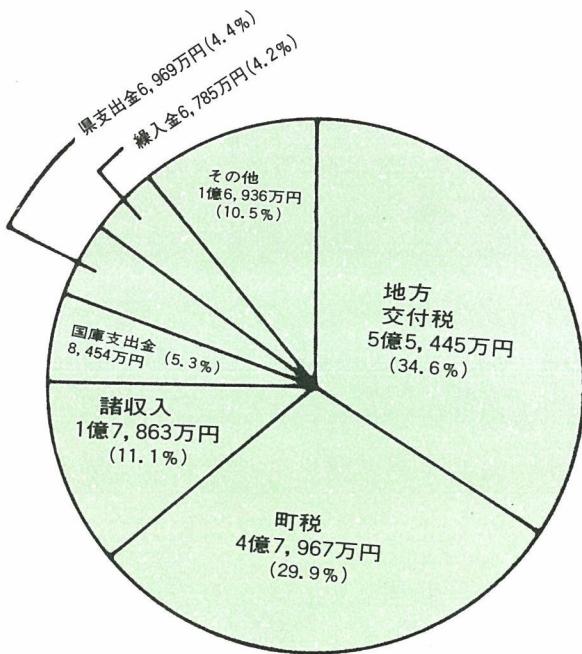
三月八日から開かれた第一回定例町議会で、五十七年度予算が決まりました。新年度はとくに大型事業はありませんが、これまでにやり遂げた施策が眞に町民生活に密着したものとなるよう、魂を入れるための予算編成をしました。



みんなが幸せに暮らせる町を願って新年度も“温かみのある行政”を展開

総額21億8,900万円

一般会計歳入内訳(カッコ内は構成比)



新年度予算是、一般・特別・事業会計を合わせた総額が二十億八千九百五十四万円。前年度当初に比べて一億二千三百四十一万一千円減つており、率にして九・三%の落ち込みを見せています。

“経済低成長”が定着した現在、国では行財政改革達成のための施策と公共投資の大削減などにやつきになっています。この動きが地方にも影響を及ぼし、町財政もたいへん厳しいものになっています。

併せて環境整備については、きめ細かい施策を推進します。また町民の健康を守り、福祉の向上を図るとともに、青少年の健全育成など“人づくり”を中心とすることを念頭に、予算を編成しました。

財政の効率的 運用に努める

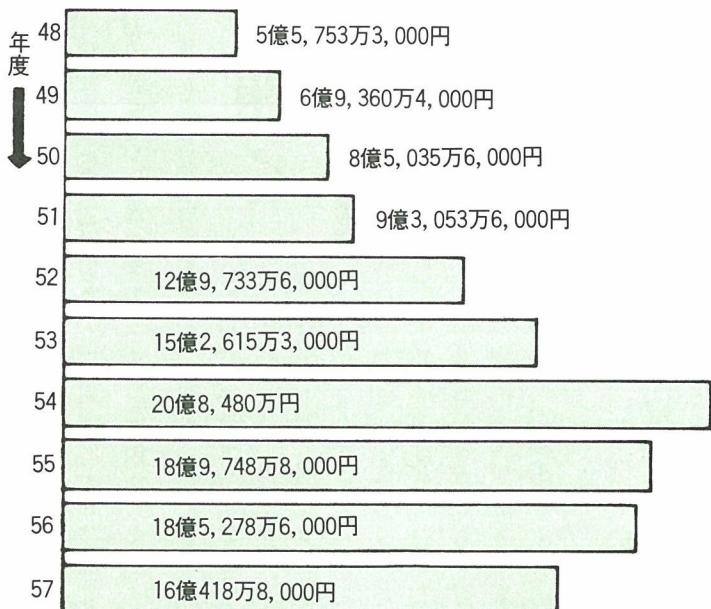
加えて昭和六十年からは、木曾川右岸用水事業負担金の償還など、財政負担はさらに増えてきます。このため適切な行政の執行を図り、財政の重点的、効率的運用に努め、基本計画達成のために財政計画を見直していくます。こうした観点に立って本年度は、これまでに達成した事業に魂を入れ、実効を上げるための年としました。

曾川右岸用水事業負担金の償還など、財政負担はさらに増えてきます。このため適切な行政の執行を図り、財政の重点的、効率的運用に努め、基本計画達成のために財政計画を見直していくます。こうした観点に立って本年度は、これまでに達成した事業に魂を入れ、実効を上げるための年としました。

一般会計歳出内訳(カッコ内は構成比)

| | |
|--------|-----------------------|
| 民生費 | 3億6,525万1,000円(22.7%) |
| 総務費 | 2億5,070万3,000円(15.6%) |
| 土木費 | 2億4,482万2,000円(12.8%) |
| 公債費 | 1億9,520万1,000円(12.2%) |
| 教育費 | 1億9,265万6,000円(12.0%) |
| 衛生費 | 1億4,879万4,000円(9.3%) |
| 農林水産業費 | 1億372万8,000円(6.5%) |
| 消防費 | 7,524万1,000円(4.7%) |
| 議会費 | 4,013万4,000円(2.5%) |
| その他 | 2,765万8,000円(1.7%) |

一般会計予算10年の推移



歳入のうちで最も大きなものは地方交付税で、五億五千四百六十万一千円。総額の三四・六%を占めています。予算額は前年度当初に比べて五千九百五十六万三千円低くなっています。率にして九・七%の減少です。本年度は大きな事業がないため、町外部から資金を調達する国・県支出金、町債といった主な収存財源も必然的にダウンしました。これらを合わせた額は、前年度当初より三億三千六百五十五万一千円少なく、率にして三

千九十六万五千円増え、伸び率は六・一%です。民生費がいちばん大きなウエートを占めたことは、福祉向上を打ち出した町の姿勢を端的に表しています。

教育費は六年ぶりにトップの座を降りました。北・東小校舎および中央公民館建設などの大きな事業が終わったためで、新年度は予算規模順位で五番めに位置しています。予算額は前年度より三億七千八百四万九千円少ない一億九千二百六十五万六千円。六六・二%の大幅減です。

公債費は、町がこれまで行った建設事業に当たって借りたお金を返すためのもので、新年度は一億九千五百二十万一千円を計上。予算総額に占める割合は一二・二%と二ヶタ台に乘りました。年々構成比が上昇

新年度の一般会計予算は十六億四百十八万八千円です。前年度当初を二億四千八百五十九万八千円下回っており、率にして一三・四%の大額減となっています。中央公民館建設完了などによるものですが、減少率が二ヶタ台を示したのは過去十年間で初めてのことです。

一般会計減少率2ヶタ台に

歳
入一人が2万
余円税負担

前年度より大幅減

歳入のうちで最も大きなものは地方交付税で、五億五千四百六十万一千円。総額の三四・六%を占めています。予算額は前年度当初に比べて五千九百五十六万三千円低くなっています。率にして九・七%の減少です。本年度は大きな事業がないため、町外部から資金を調達する国・

県支出金、町債といった主な収存財源も必然的にダウンしました。これらを合わせた額は、前年度当初より三億三千六百五十五万一千円少なく、率にして三

千九十六万五千円増え、伸び率は六・一%です。民生費がいちばん大きなウエートを占めたことは、福祉向上を打ち出した町の姿勢を端的に表しています。

歳
出積極的姿勢
福祉向上へ

歳入のうちで最も大きなものは地方交付税で、五億五千四百六十万一千円。総額の三四・六%を占めています。予算額は前年度当初に比べて五千九百五十六万三千円低くなっています。率にして九・七%の減少です。本年度は大きな事業がないため、町外部から資金を調達する国・

県支出金、町債といった主な収存財源も必然的にダウンしました。これらを合わせた額は、前年度当初より三億三千六百五十五万一千円少なく、率にして三

千九十六万五千円増え、伸び率は六・一%です。民生費がいちばん大きなウエートを占めたことは、福祉向上を打ち出した町の姿勢を端的に表しています。

緊縮財政の中で最善の手段

21億9千万円のゆくえ



すべての町民が幸せに暮らせる町
を願って今年は福祉の向上に重点

言葉の教室を開く

明るい町

民生費

赤ちゃんからお年寄りまで
すべての町民が幸せに暮らせる
町をつくるため、民生費に三億
六千五百二十五万一千円を計上
しました。歳出費目の中ではい
ちばん大きな額で、福祉に重点

を置いた時の姿勢を裏付けています。

昨年は国際障害者年で、いろいろな行事が開かれました。それに伴い、障害者に対する認識も徐々に変わつてきています。

万四千円 国民健康保険事業特別会計への繰出金一千万円などがあります。

いて保険税が一億五百四十六万円で、歳入総額の三三・三%に当たります。また年を増える医療費に伴う赤字を穴埋めするため、一般会計から一千万円を繰り入れ

超緊縮型の今年の予算。やりくりのむずかしさがいちばんと増した財政事情の一トで、町は「豊かで明るく住みよつ町づくり」を目指して、最善の手段を講じます。福祉の向上、環境整備など、本年度の主な事業を紹介しましょう。

特別会計

国民健康保険 今年は三億一千六百二十六万三千円

八十四万五千円▽成人病検診委託料＝七十九万一千円▽住民検診委託料＝五十一万四千円▽可茂衛生施設利用組合火葬場建設費負担金＝七百三十五万円▽同組合（火葬場・ごみ・し尿処理）負担金＝二千百八十九万七千円▽上水道会計繰出金＝八千五百三十万三千円

学校給食共同調理場 予算額は六千二百五十万九千円です。

「立志の集い」開催

豊かな町

教育費

人づくりに向けて、教育費には一億九千二百六十五万六千円を充てています。

十四歳の中学生を対象に、約百六十万円をかけて高山市の国立乗鞍青年の家で「立志の集い」を開催、若者に自覚と希望を植え付け、青少年の健全育成に努めます。

このほかの主な事業は次のとおり。



青少年育成町民会議を開くなど若者の非行防止にも力

商工費には千三百十七万四千円を充て、商工会補助金二百八十万円、中小企業融資預託金一千万円などを見込んでいます。借金返済のための公債費には一億九千五百二十万一千円を計上しました。

総務費に二億五千七十九万三千円を計上しました。主なものに、
舎建設基金積立金二百五十万円があります。

その他

▽農業共済事業会計繰出金＝九十万円▽可茂公設市場組合費負担金＝五百三十七万円▽水田利用再編対策特別事業推進補助金＝三百六十六万三千円▽土地改良事業負担金・補助金＝三千六百八十五万一千円

農林水産業費には一億三百七十二万八千円を計上しました。

農林水產業費

館屋根修繕費 五百三十四万
千円▽下麻生公民館屋根工事費
七百万円▽文化講演会講師謝
礼 二百万円▽劇上演費 二百万円

△中川辺中井地区下水管およ
り。そのほかの主な事業は次のと
おり。
　　駢川へりには千七百五十万円
で中央公民館と艇庫を結ぶ道路
を造り、ダム湖周辺の整備を進
めます。

帳を整備します。

災害復旧費

四百四十八万四千円を災害復旧費として計上しました。今年は農林業および公共土木施設災害復旧工事費として四百万円を見込んでいます。

消防費は七千五百二十四万一千円。主なものとして可茂消防事務組合分賦金五千七百四十一万三千円、小型動力ポンプ積載車購入費百六十万円、ポンプ用ホース購入費十八万円。

土木費

下麻生ほか急傾斜地工事費四百八十万円

山楠に球場観覧席

住みよい町

A black and white photograph showing a baseball field enclosed by a chain-link fence. The field has a concrete pitcher's mound and a grassy infield. In the background, there is a small, single-story building with a dark roof and light-colored walls. Behind the building is a steep hillside covered in dense vegetation and trees. The sky is overcast.

山楠公園球場に観覧席を設置。野球見物がいっそう楽しくなりそう

び支出と資本的収入及び支
出を合わせて一億九千五百
十八万五千円を充てました
前年度より千六百四十二万
一千円多く、〇・九%の伸
びです。

収入の主なものは給水な
どの営業収益八千百八十七
万二千円、支出の主なもの
は借金返済費用八千八百四
十八万一千円。赤字埋め合
わせのため、一般会計から
八千五百三十一万三千円の
補助を受けています。

収入の主なものは▽農作物共済掛金百四十八万六千円▽蚕繭共済掛金二十四万円▽家畜共済掛金二十三万円▽家畜共済掛金二十三万円――などがあります。また支出では主なものとして▽農作物共済金二百三十三万九千円▽蚕繭共済金四十九万六千円▽家畜共済金四十六万六千円――などを計上しました。

事業會計

三月二十五日に美濃加茂市の可茂総合庁舎で開かれた「生産と生活工夫交換会」で、町農業振興協議会婦人部の横田喜子さん(三五)＝鹿塩＝が「わが家の健康づくりと農作業環境の工夫」と題して事例発表を行いました。その内容を紹介します。

第一に農業の合理化考える

私たちが結婚する前、主人は山野を利用する新しい農業の分野に七面鳥を、という夢を抱いて、二年間アメリカで勉強してきました。しかし「イザ始めん」というときに肝心の七面鳥のヒナが入らなくなってしまい、断念せざるを得なくなってしまった。おぼれる者ワラをもつかむ、とういう思いで、七面鳥を飼うために切り開いた山に転がっていった原本にシイタケ菌を植え付けたのが、現在シイタケ専業でやっている始まりでした。シイタケに関してはまつた多くの素人でありながら「もう

でも、長時間体を酷使して働いて疲れ果て「きょうもよく働いた」という自己満足に浸る、という繰り返しでした。これも毎日の積み重ねとなると、どうしても過労で体の調子をくずし、揚げ句の果ては神経もいらだつて、ちよつとしたことから家族間の言い争

になることがあつたと言います。農業的環境の中でいくら
真剣に考えても及ばなかつた問題解決の糸口が見つかつた
り、農業者の常識では気がつかないような発想などたくさ
んあつたようです。



「生産と生活工夫交換会」で発表する横田喜子さん(美濃加茂市の可茂総合庁舎で)

しようか。その家その家の環境や事情に合った方法を、自分で見つけ出してやっていくのが、いちばん無理のないやり方だと思います。

わが家も過労を防ぐためには能率的に改善工夫したおかげで、労働時間がかなり短縮できました。それによつて、外出に出で勉強したり、趣味を生かしたり、広く社会に目を向けられるようになつて、心にゆとりができました。

の両親と私たち夫婦、そして六人の子供たちと合わせて十人家族の主婦として、私の態度一つでかなり家庭の雰囲気は変わる、という大きな責任も感じています。

私は、必要以上の睡眠はとらなくててもよいと思つていきたす。じゅうぶんな休養、睡眠で健康を保つことはもちろんたいせつですが、ペンを執るたり、じっくり読書していくんなどいを巡らしたり、精神的にもゆとりがあり、情緒総合的

供といつしょにレジャーを楽
しむだけが親子の触れ合いで
はありません。多少のことでは
はへこたれない健康な体と精
神が培われれば、という願い、
そしていろいろ自然に触れて
体験させることなど、机の上
の勉強以上のものを身につけ
てくれれば……と願つていま

「後には引けない」というせっぱ詰まつた状態の中で、第一に考えたことは、『農業の合理化』です。

いや、夫婦げんかなど、家庭不和のもととなりがちでした農家に生まれ、農業高校を卒業して一途に農業に取り組んできた主人と、農業は全然知らずに育ってきた私とが何気なく交わしている会話の中から、彼にとつてかなり参考

る方法が最もよい、と満足するのではなく、何かもつとよはないか、常に考えたり、ほかの人の意見を聞いてみたり、時にはまったく頭を切り替えて、全然違った観点から見てみることも必要ではないで

心和む明るい
家庭を目指す

かになれることも、たいせつな健康づくりと思っています。

言葉の障害克服へ

「町立親子教室」が開所



言葉の障害は早期発見・早期治療がたいせつ。「親子教室」で心身ともに健全な子供を（写真と本文は関係ありません）

町は言語に障害のある子供を治療・訓練するための「親子教室」を設置、四月二日に上川辺の「コミュニティーセンター」で開所式を行いました。同教室は、お母さんたちが二月上旬から自主運営していた「ことばの教室」を発展させたもの。

町には現在、二十人近くの言語障害児がいます。このうち五人が、五十五年十一月に白川町で開設された「白川ことばを育てる親の会」に、今年一月まで通っていました。ところが距離があつて不便なため、言語に障害のある子を持つ町内のお母さ

んたちが相談し、今年二月から毎週金曜日に約一時間、岐阜大学重複障害教育教員養成課程の学生から一对一で指導を受けていました。

毎週2回言葉の治療・訓練

町では、これらお母さんたちの苦労に報いるため、町運営の言葉の治療教室を設置することを計画。運営に要する費用約百七十万円が三月定例町議会で認められました。これに伴い、これまでお母さんたちが自主的に運営していた「ことばの教室」は発展的解消をしました。

四月二日から始まつた教室は「親子教室」と名付けられ、上川辺の旧上川辺分校跡地に建てられたコミュニティーセンターで、子供たちの治療・訓練をしています。指導には岐阜大教育学部の柚木復（ゆのき・ふく）教授と同大の研究生二人が当っています。

同教室には、現在十六人の子供が入所。毎週金、土曜日の二

自主運営から町立へ

回、午前十時から午後四時まで、言葉の治療・訓練を受けている入所の対象となるのは△音声障害など発声に異状のある児童△脳性マヒなど言語発達の遅れしている児童△難聴など聴覚能力の異状のある児童△発語器管の異状で言葉に異状のある児童△情緒の発達に遅れがあり、そのため言葉に遅れがある児童——などです。

「親子教室」では、これらの子供に対して△言語、情緒などの発達遅滞児の教育相談△的確な診断に基づいた指導・訓練△心身の発達を促すため、関係者との連携強化△障害児の教育・保育の理解に向けての啓発△障害児の教育療育に関する研修——を進めます。

随時申し込み受け付けます

町では、「しゃべり方などが気になるようだつたら気軽に来所し、早期発見・早期治療に努めてほしい」と呼びかけています。申し込みを受け付けています。

「親子教室」開所後も、随时申し込みは役場住民課（電2511-1111）へ。

申し込みは役場住民課（電2511-1111）へ。

戦死者の靈安かれ

比久見
龍洞寺



第二次大戦戦死者の靈を祭った
『英靈地蔵』(比久見の龍洞寺で)

比久見の龍洞寺（長谷郡幽蹊住職）にある地蔵尊像は、第二次大戦戦死者の靈を祭つた。“英

た日本遺族連合会はさる一月二十四日、東京都千代田区の九段会館で同寺を表彰、その功をたたえました。地蔵は高さ約五十センチの立像。厨子（ずし）に納められ、戦死者名簿などとともに本堂に安置されています。

広島の焼土などを七年余りかけ集めました。建立費用を調達するため托鉢（たくはつ）に回るなど、苦難の月日を送りました。

像の彫刻は榊本義春京都美術院長に依頼。同住職の意を受けた榊本院長は、国宝の法隆寺西円堂地蔵尊に模したりっぱな立像を彫り上げました。

地蔵尊には戦死者の遺品などを燃やした灰が塗り付けられ、全国各地の英靈三千三百八十三柱が祭られています。

建立と同時に奉贊会が発足、五十二年四月に児島住職が亡くなつたあとも、住職の遺志を継いで、毎年四月二十八日に例祭を行つて供養しています。

広島の焼土などを七年余りかけて集めました。建立費用を調達するため托鉢（たくはつ）に回るなど、苦難の月日を送りました。

像の彫刻は榊本義春京都美術院長に依頼。同住職の意を受けた榊本院長は、国宝の法隆寺西円堂地蔵尊に模したりつばな立像を彫り上げました。

地蔵尊には戦死者の遺品などを燃やした灰が塗り付けられ、全国各地の英靈三千三百八十三柱が祭られています。

建立と同時に奉贊会が発足、

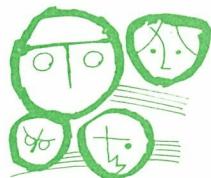
三一四二南一四七

社会福祉に現金寄付
飛水歌謡友の会（青山正司
会長）はこのほど「社会福
祉に役立ててください」と
町社会福祉協議会へ現金一
万八千五百五十八円を寄付
しました。同会が3月14日
に中央公民館で開いた「春
の歌と踊り発表会」でのチ
ヤリティー募金。

漫才大会利益金を寄付
町ささやかに奉仕する会は
このほど、町社会福祉協議会

漫才大会利益金を寄付

あ の 人
こ の 人



甚右衛門さんの葬儀の香典の一部。（69歳・石神）

下飯田||山田昭治▽福島||長谷川春夫▽比久見||横山義忠▽下

進協議會長賞、上米田養蚕組合（佐伯量男組合長）が農産園芸局長賞、北久見の届端養蚕組合

長）後藤澄子、三品可代、木下佳子、楣山鈴子（同）山田文子（福島）井戸芳子（二

大倉法念さん
これまで町



有本由理ちゃん(3歳)=比久見
(吉博さん・博子さん長女)

元氣
です



作曲者の大沼教諭の指揮で校歌を合唱する児童ら(北小体育館で)

北小に校歌ができ、三月
日、同小体育館で発表会が
されました。町内でただ一回
がなかつた同小も、これで
と一人前になれました。

月十八
が開か
校歌
でやつ
定に乍う費用の寄付の申し出も
あり、トントン拍子に話がまと
まりました。

作詞は岐阜市加納中の後藤左
右吉教頭に依頼、また作曲は本
巣郡根尾村、樽見小の大沼智幸
が引き受けました。校歌は
三番まで、伸び伸びとした明
るいメロディーです。

三月二十五日の卒業式では、在校生の歌う校歌に送られて、四十九人の卒業生が母校をあとにしました。

一番の歌詞は次のとおり。
光たたえる 飛水の流れ
胸はずませて 歌うとき
豊かな歴史が こだまする
この山 この川 この道よ
ああ 川辺北小学校
朝が開けゆく

同小児童会が企画したもので、去年に続いて二度めの催し。

リと色よく揚げ、熱いうちに
食べます。

見た目もよく、栄養もあります。日曜日の昼食や行事場にいかがでしょう。目先が変わり、食欲のないときにも適していると思います。組み合わせは、タンパク質と野菜を多く取り入れてください。

お母さんの料理のメニューが多くなると、子供はとても喜びます。

ライスコロッケ

【材料（五人分）】

カツプ、バター大さじ一、
チーズ大きさじ二、塩大きさじ

二分の一、コショウ少々、卵
二個、パセリ五本、チーズ(

（けるもの）九十ムグラ、小麦粉、
パン粉、揚げ油

【作り方】①ごはんが熱いうちに、バターと粉チーズ、卵一個、塩、コショウを混ぜ



今月の料理

見た目もよく、栄養もあります。日曜日の昼食や行事食にいかがでしょう。日先が変わり、食欲のないときにも適していると思います。組み合われは、タンパク質と野菜を多く取り入れてください。

お母さんの料理のメニューが多くなると、子供はとても喜びます。

定に有う費用の寄付の申し出もあり、トントン拍子に話がまとまりました。

交通遺児にと十万円 石
神の高橋裏組からこのほど
「交通遺児のために役立て

◆締め切り 5月8日到着分まで有効

◆賞 小学生の部、中学の部に分けてそれぞれ環境官賞と記念品▼特賞

一点▼入賞=数点

◆発表 5月下旬に各学校へ通知

◆送り先・問い合わせ先

〒100 東京都千代田区霞が関二一一一、環境庁総務課広報室(電03・580・4981)

相談員が、所、5月6日に役場会議室。両

所、5月6日に役場会議室。両日、午前9時~正午

言つた。「わしがだいぶんなめとつたようやが、その腕では一枚落としがええとこや」と飛車、角行を駒箱に入れてしまつた。

この屈辱、言いようのない腹だち。定跡もあらばこそ、メチャクチャに攻めかかつた。しかし、もう一枚駒が足りない。欲しい駒を取らせてくれない。駒台の上に歩が三枚指し切りである。私は負けを意味する投了をしなければならない。

「なああんた、これだけは覚えときや。将棋の深さは無限や、どこにどんな強い人がいるかわからん。初対面の人と指すときは、必ず“玉”を持つ。ヘボですがよろしくと礼を尽くすんや。

この心が将棋に強くなるひけつや」。ズーンと胸にこたえる言葉であつた。おっちゃんは言った。「あんさん、腕磨いてまた来なはれ」

恥ずかしさでいっぱいだった。

私はその人がだれであつたか、どのくらいの棋力の人であつたかは知らない。若き身の高慢をたしなめ、人は常に謙虚であれと教えられた。私は以来、将棋が強くなりたいという願望を持ちながら、棋力とともに、謙虚な日々を送り、将棋を楽しみたいと思つてゐる。(中央公民館)

おめでたおくやみ

2・3153)

(2月中の届け出)
〔出生〕 上から住所、出生

〔結婚〕 江口 敏彦

上川辺 加藤 佑治 久義 三男

上川辺 金沢 知里 康年 長女

上川辺 桜井 恵理香 雅克 長男

上川辺 大谷 和也 征幸 長男

上川辺 古川 清子

上川辺 横山 輝代 善博 長女

上川辺 霞が関二一一一、環境庁総務課広報室(電03・580・4981)

中川辺 長谷部 崇 衛 長男

中川辺 西柄井 長女

中川辺 交告のり子 重徳 長女

中川辺 下川辺 山本 理絵 文男 長女

中川辺 中川辺 渡辺 美子

中川辺 中村 綾子

中川辺 西柄井 日比野義道

中川辺 中川辺 古沢 博子

中川辺 西柄井 二宮市 小島 由久

中川辺 西柄井 石神 平岡三智子

中川辺 中川辺 渡辺 美子

中川辺 西柄井 田原 文代

中川辺 下川辺 木下 明美

中川辺 西柄井 美濃加茂市 桜井 慶正

中川辺 中川辺 石井 三幸

中川辺 中川辺 佐藤 治彦 58歳 本人

中川辺 西柄井 古沢 奥一 78歳 本人

中川辺 下川辺 嶺川みきへ 62歳 佐太雄

中川辺 下川辺 奥村 武 56歳 本人

鹿塩 村田ハルエ 71歳 本人

十戸、人口千九百四十二人と
明治二十三年の戸数三百七
川辺・石神の四か村が合併し
二つの柄井村が合併し、明治
七年九月一日に西柄井村とな
っていた。

当初村役場は中川辺地区の
本町通にあつたが、昭和二年
現在の地に移転新築した。学
校は明治初年、有隣舎学校(下
川辺)玉光舎学校(西柄井)
貫誠舎学校(中川辺)博泉舎
学校(石神)の四校が発足し
た。その後中川辺尋常小学校
に併合され、さらに川辺村發
足後は川辺尋常高等小学校と
して統合された。

【上米田村】明治二十二年七
月一日から、昭和三十年三
月三十一日までの村名。下飯
田・福島・比久見・下吉田の
四か村が合併して成立した村
であり、往古の莊園米田莊内
の集落であつたことから、上
米田と名付けられた。当初村
役場は福島に設置されたが、
大正二年になつて村の中央に
当たる比久見に新築された。

【地名の変遷と由来】(19)

町史編さん室だより



—その76—

なつていた。

【川辺村】明治二十二年七

月一日に下川辺・西柄井・中
川辺・石神の四か村が合併し
て誕生した。西柄井村は当时

二つの柄井村が合併し、明治
七年九月一日に西柄井村とな
っていた。

当初村役場は中川辺地区の
本町通にあつたが、昭和二年
現在の地に移転新築した。学
校は明治初年、有隣舎学校(下
川辺)玉光舎学校(西柄井)

貫誠舎学校(中川辺)博泉舎
学校(石神)の四校が発足し
た。その後中川辺尋常小学校
に併合され、さらに川辺村發
足後は川辺尋常高等小学校と
して統合された。

子供は、そばで顔見知りの
人が話していれば、近寄つて
きて話に加わろうとするもの
です。そんなとき「お前には
関係のない話だ」とか「向こ
うで遊んでなさい」などと言
つてしまことがあります。
もちろん子供には聞かせた
くないこと、子供の知らない
ほうがいい話題もあります。
しかし理由も言わずには場を外
させることは、仲間外れにさ
れたという思いを抱かせるこ

とにもなります。訳を話して
納得させるようにしましよう。
子供同士の会話の場合、多
く「母と子の会話」に始まり
ます。少しでも多く子供と言
葉を交わし、会話の雰囲気に
なじませましょう。同時に進
んで会話に参加できるよう勇
気づけたり、他人と話すとき
のマナーについても教えてや
りましょう。(終)

母と子の会話

子供が言葉を覚えたり、言
葉のやりとりを知るのは、ま
ず「母と子の会話」に始まり
ます。少しでも多く子供と言
葉を交わし、会話の雰囲気に
なじませましょう。同時に進
んで会話に参加できるよう勇
気づけたり、他人と話すとき
のマナーについても教えてや
りましょう。

■わたしたちの作品

■開けば胸裡さらして いたり 岩井三千代
■手話教室へ静かに入りぬ 長瀬 宗子
■病身のわれを遣い給う 冷たき受話器に姉の声する 神田 繁子
■ひとり居の侘しさ故にあかあかと 灯りをつけて歌作らむとす 横山 寿子
■春待ちて会うを約しつ小春日の さし入る部屋にグラスを交す 肥田節子
■外つ國の海草集めし寒天庫 浜の匂いの黒く染みおり 井戸 義勝
■薄雪のおきて干さるる寒天の 先生が来るとしつかりやる掃除 田原千佳子
■魚釣りやつと釣れたが糸が切れ 渡辺 裕介
■出勤の夫と子の背の遠ざかり 見えずなるまで立ちて見送る 佐伯陽子
■見えずなるまで立ちて見送る 佐伯陽子
■手加減せしはいつの頃なる 遠藤 豊

中学生の川柳

メロドラマ強い母でも泣いてみる

水野江津子

起こされて返事だけしてまたもぐる

廣井 直美

学校の机をベッド代りにし

井上 恵

先生が来るとしつかりやる掃除

平岡美智代

魚釣りやつと釣れたが糸が切れ

渡辺 裕介

目標は貼つておくだけむだな紙

急ぐほどカバンがずんずん重くなる

横山美和子